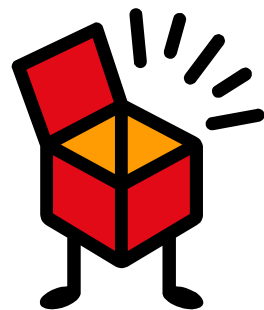


日立金属株式会社  
2011年度第2四半期累計決算説明



Materials Mag!c

2011年10月28日

 日立金属株式会社  
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

E-Mail : [hmir@hitachi-metals.co.jp](mailto:hmir@hitachi-metals.co.jp)

# 連結業績要約



[単位:億円、累計、( )は前年同期比]

	2010年度							2011年度						
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	年度 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	下期 予想	通 期		
												従来	今回	差異
売上高	1,269	1,273	2,542	1,338	1,322	2,660	5,202	1,294 (102%)	1,323 (104%)	2,617 (103%)	3,083 (116%)	5,330	5,700 (110%)	+370
営業利益	120	99	219	121	91	212	431	109 (Δ11)	56 (Δ43)	165 (Δ54)	280 (+68)	430	445 (+14)	+15
経常利益	107	85	192	113	71	184	376	100 (Δ7)	55 (Δ30)	155 (Δ37)	250 (+66)	392	405 (+29)	+13
(特別損益)	Δ0	Δ6	Δ6	0	Δ9	Δ9	Δ15	Δ0 (±0)	Δ2 (+4)	Δ2 (+4)	Δ18 (Δ9)	Δ22	Δ20 (Δ5)	+2
税前利益	107	79	186	113	62	175	361	100 (Δ7)	53 (Δ26)	153 (Δ33)	232 (+57)	370	385 (+24)	+15
当期純利益	55	48	103	62	57	119	222	62 (+7)	6 (Δ42)	68 (Δ35)	149 (+30)	209	217 (Δ5)	+8
設備投資額	34	48	82	49	73	122	204	42 (+8)	59 (+11)	101 (+19)	179 (+57)	280	280 (+76)	±0
減価償却費	67	68	135	73	76	149	284	66 (Δ1)	68 (±0)	134 (Δ1)	152 (+3)	286	286 (+2)	±0
研究開発費	27	30	57	32	33	65	122	28 (+1)	30 (±0)	58 (+1)	72 (+7)	130	130 (+8)	±0

# 11年度第2四半期累計(4月-9月)業績概況



## ■売上高・営業利益

売上高 2,617億円 (10/2Q累計対比 103%) 営業利益 165億円 (10/2Q累計対比 Δ54億円)

## ■需要動向

自動車関連分野 : 国内自動車関連は1Q後半に回復、海外向けはアルミホイールを除き堅調に推移  
エレクトロニクス関連 : 液晶関連は調整が継続、半導体関連も2Qから調整局面に入る  
産業インフラ分野 : 工作機械関連は需要減となったが緩やかに回復、震災復旧関連需要は2Qに入り減速

## ■セグメント別動向

・高級金属製品セグメント : 売上高 1,119億円 (10/2Q累計対比100%)、営業利益 110億円 (10/2Q累計対比 Δ12億円)

⇒工具鋼は自動車・家電向けともに堅調に推移、液晶は調整が継続、半導体関連も2Qより調整局面に入る

・電子・情報部品セグメント : 売上高 702億円 (10/2Q累計対比 106%)、営業利益 55億円 (10/2Q累計対比 Δ24億円)

⇒マグネットは自動車・家電・FA向けともに堅調に推移、情報部品関連と軟磁性材料(アモルファス)は在庫調整等が続き低迷

・高級機能部品セグメント : 売上高 803億円 (10/2Q累計対比 104%)、営業利益 35億円 (10/2Q累計対比 Δ18億円)

⇒自動車用鋳物は国内自動車減産の影響があったものの回復し好調に転じ、配管機器は一時的な需要増があったものの調整に入る

## ■当期純利益、ROE

当期純利益 68億円 (10/2Q累計対比 Δ35億円) ROE 6.5% (10/2Q累計対比 Δ4.0%)

## ■設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資 101億円 (10/2Q累計対比 +19億円)	減価償却費 134億円 (10/2Q累計対比 Δ1億円)	研究開発費 58億円 (10/2Q累計対比 +1億円)
---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------

■海外売上高比率 43.7% (10/2Q累計対比 ±0%) ■新製品売上高比率 26% (10/2Q累計対比 +3%)

# 2011年度第2四半期累計業績概要

**売上高 2,617億円** 10/2Q累計対比 103%

高級金属製品セグメント 1,119億円 (10/2Q累計対比 100%)  
 電子・情報部品セグメント 702億円 (10/2Q累計対比 106%)  
 高級機能部品セグメント 803億円 (10/2Q累計対比 104%)

## ■高級金属製品セグメント

特殊鋼は、工具鋼は海外の自動車関連需要が堅調に推移、国内需要も期後半に回復、電子金属材料は液晶関連の調整が継続、半導体関連も2Qから調整局面に。ロールは国内需要の低迷継続、アジアを中心とした海外需要も減速傾向に。

## ■電子・情報部品セグメント

マグネットは、家電・FA向けともに堅調に推移、自動車関連も震災の影響があったものの想定以上の速さで回復。

情報部品は、スマートフォン向け新規採用製品の顧客生産開始遅れの影響や太陽光関連製品の在庫調整が続き低調に推移。

アモルファス(軟磁性材料)は、中国での入札手続遅れの影響で減少。

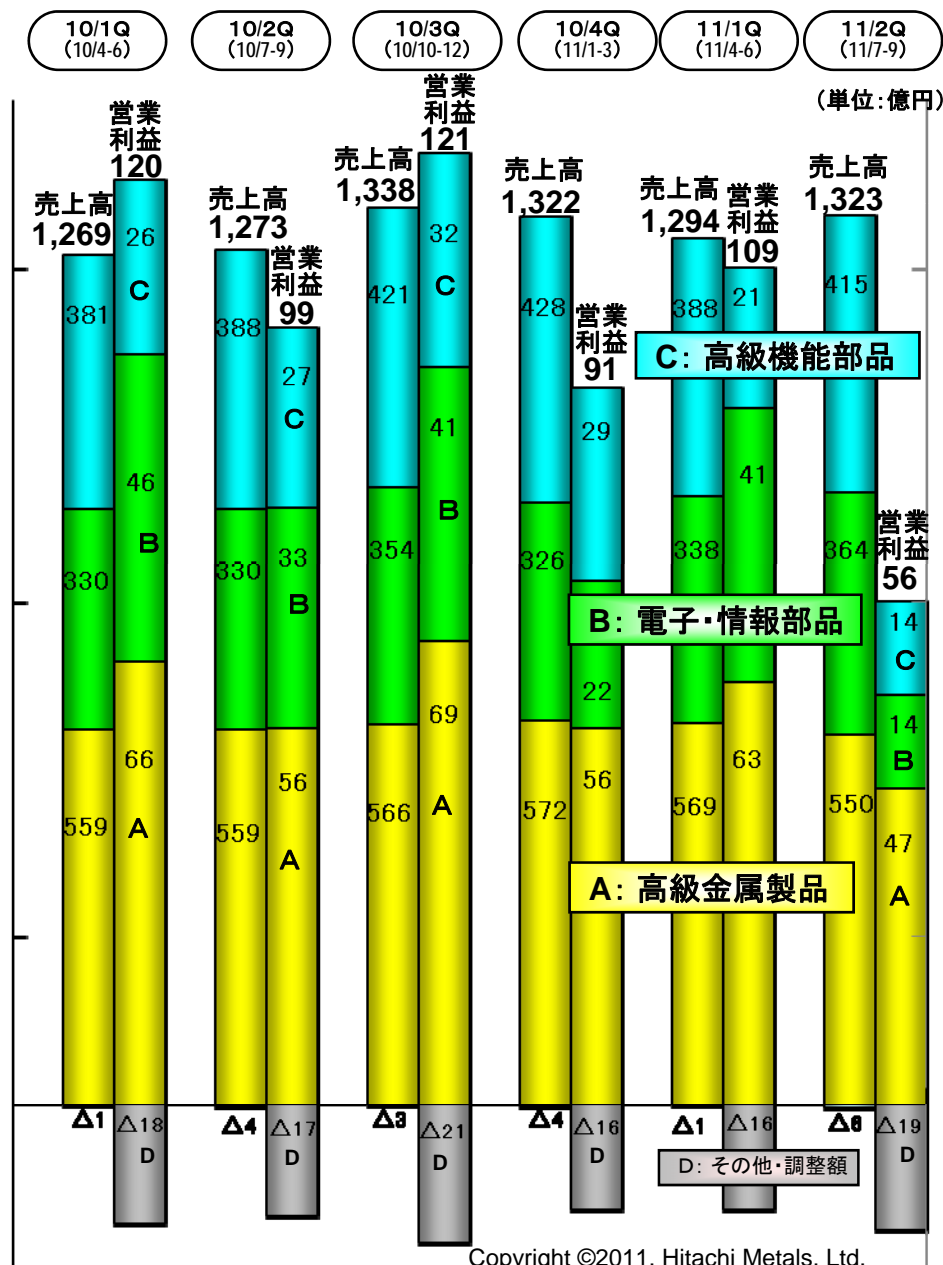
## ■高級機能部品セグメント

自動車用鋳物は、ダクタイル鋳鉄は国内向けは震災の影響を受けたものの、アジアを中心とした海外需要で好調持続、堅調に推移。ハーキュナイトは欧州向けに加え、北米需要も加わり堅調に推移、アルミホイールは震災影響で日米共に減少。配管機器は震災後の仮設住宅需要で1Q増加したものの2Qに減速。

**営業利益 165億円** 10/2Q累計対比 54億円減

高級金属製品セグメント 110億円 (10/2Q累計対比 12億円減)  
 電子・情報部品セグメント 55億円 (10/2Q累計対比 24億円減)  
 高級機能部品セグメント 35億円 (10/2Q累計対比 18億円減)

自動車生産減産の影響や原材料価格の価格転嫁のタイムラグ等により前年同期対比では減益となったものの、国内生産の回復、海外需要等により稼働が堅調に推移、原価低減効果もあり、当初予想(150億円)を上回った。



# 2011年度業績予想

**売上高 5,700億円** (予想対比370億円増、10年度対比 110%)  
**営業利益 445億円** (予想対比 15億円増、10年度対比14億円増)

## ■高級金属製品セグメント

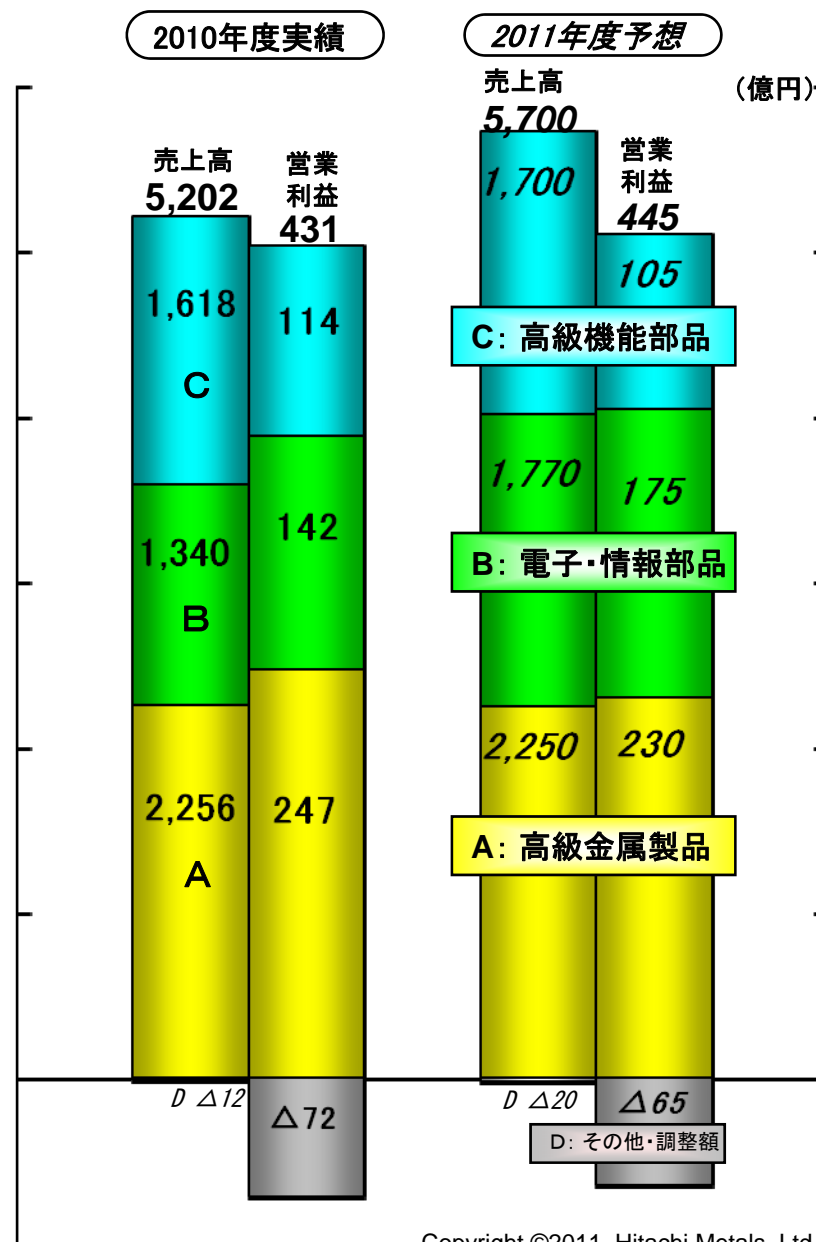
売上高 2,250億円 (予想対比15億円増、10年度対比100%)  
 営業利益 230億円 (予想対比10億円減、10年度対比17億円減)

## ■電子・情報部品セグメント

売上高 1,770億円 (予想対比260億円増、10年度対比132%)  
 営業利益 175億円 (予想対比25億円増、10年度対比33億円増)

## ■高級機能部品セグメント

売上高 1,700億円 (予想対比50億円増、10年度対比105%)  
 営業利益 105億円 (予想対比5億円減、10年度対比9億円減)

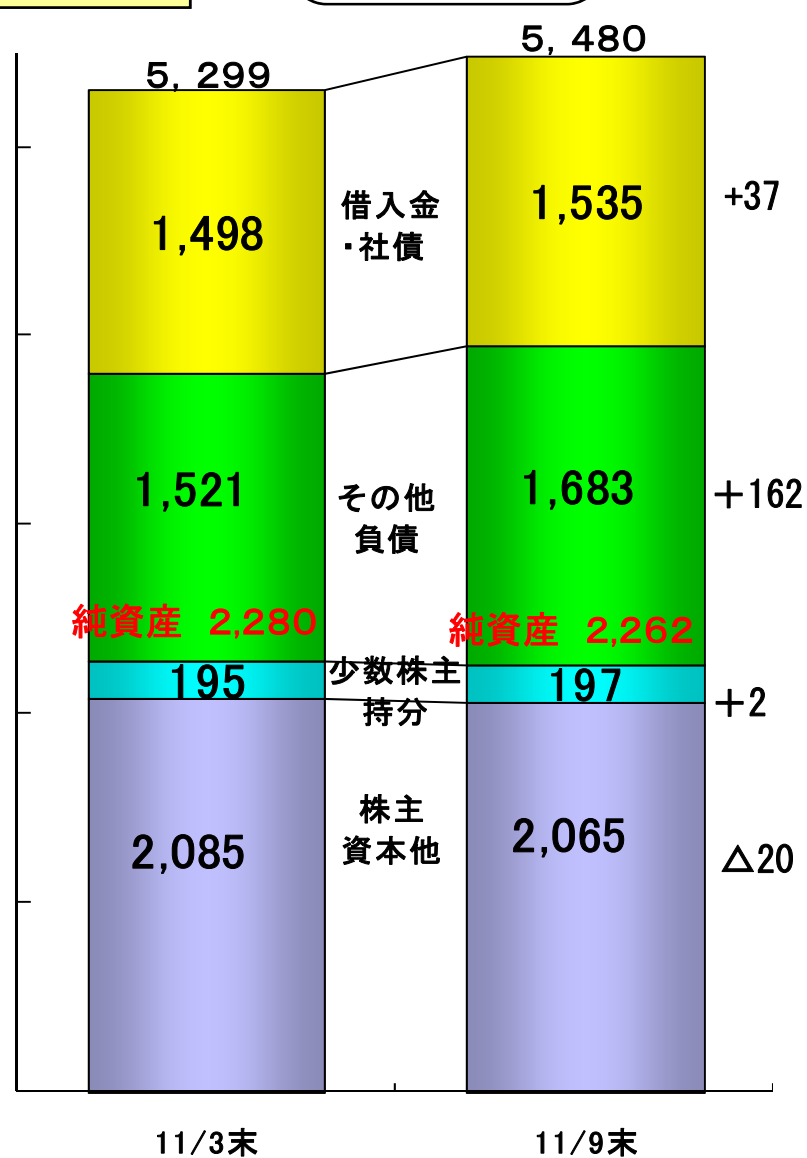
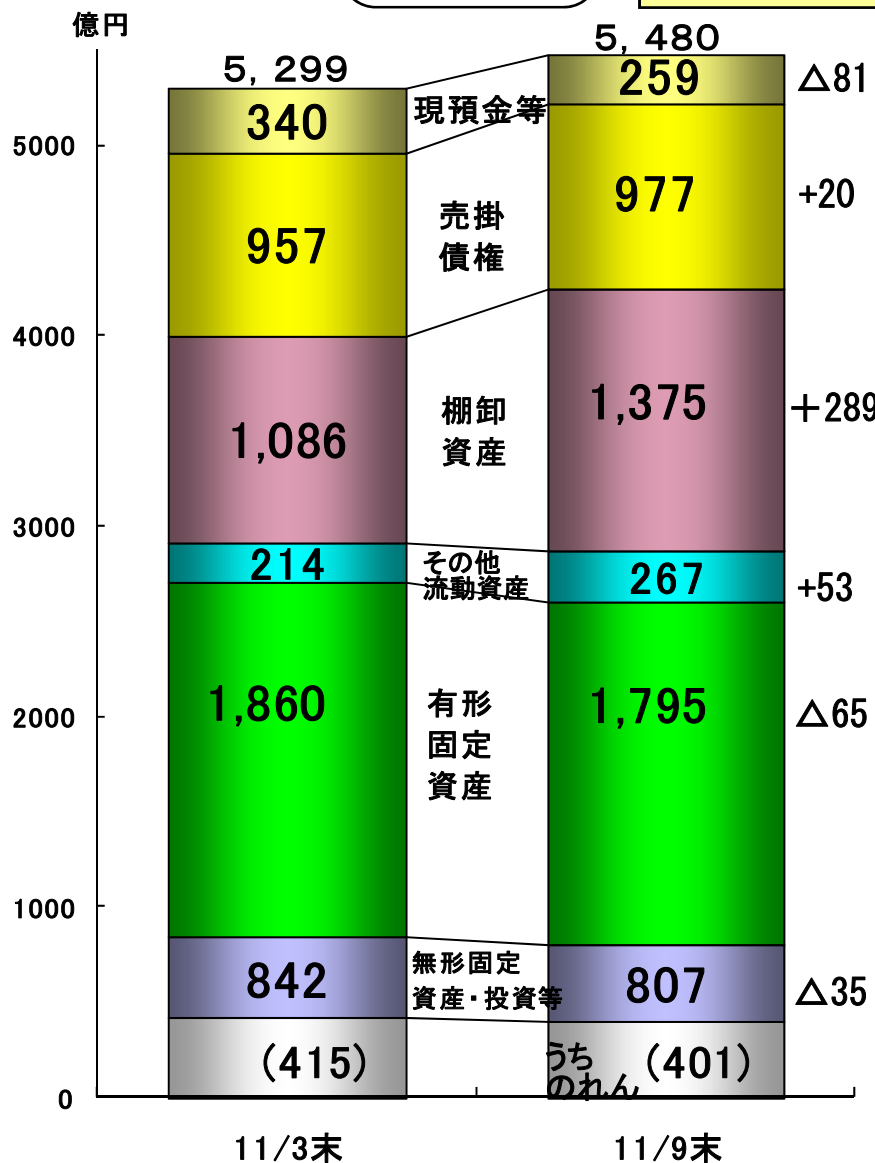


# 連結B/S残高

## 資産

11年3月末比増減 **181億円増**  
D/Eレシオ **0.74**

## 負債・純資産



# 連結キャッシュ・フロー

(億円)

科 目	10年度 第2四半期累計	11年度 第2四半期累計
現金及び現金同等物期首残高	436	340
税金等調整前当期利益	186	153
減価償却費	135	134
棚卸資産の増減	△164	△317
その他	117	48
営業キャッシュ・フロー	274	18
設備投資	△82	△101
その他	△3	0
フリーキャッシュ・フロー	189	△83
借入金・社債の増減	△119	56
配当金支払他	△33	△33
ネットキャッシュ・フロー	37	△60
為替換算差額他	△26	△19
増加額または減少額合計	11	△79
現金及び現金同等物期末残高	447	261

(注) 設備投資は検収ベース

# (参考) 日立金属の事業構造

## 材料開発をベースに幅広い産業分野で「質」を提供する素材メーカー

事業セグメント	マーケット		
	産業インフラ	自動車	エレクトロニクス
高級金属製品	 <p>高級特殊鋼 (特殊鋼カンパニー)</p>	 <p>圧延用ロール (ロールカンパニー)</p>	 <p>電子金属材料 (特殊鋼カンパニー)</p>
	 <p>切削工具 (日立ツール株式会社)</p>		
	電子・情報部品	 <p>マグネット (NEOMAXカンパニー)</p>	
 <p>情報通信用部品 (情報部品カンパニー)</p>			
高級機能部品		 <p>配管機器 (配管機器カンパニー)</p>	 <p>自動車用鋳物部品 (自動車機器カンパニー)</p>
	 <p>建築部材 (日立機材株式会社)</p>		



# (参考) セグメント別事業内容

事業セグメント	事業ユニット	主要製品
<b>高級金属製品セグメント</b>  [2009年度実績] 売上高 1,879億円 営業利益 65億円  [2010年度実績] 売上高 2,256億円 営業利益 247億円	特殊鋼カンパニー	高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ] : 金型・工具用材料、電子金属材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器・エネルギー関連材料、剃刃材および刃物材
	ロールカンパニー	各種圧延用ロール(鉄鋼・非鉄・非金属)、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
	日立ツール株式会社	切削工具
<b>電子・情報部品セグメント</b>  [2009年度実績] 売上高 1,059億円 営業利益 71億円  [2010年度実績] 売上高 1,340億円 営業利益 142億円	NEOMAXカンパニー	マグネット(希土類磁石[NEOMAX <sup>®</sup> ]・フェライト磁石等各種磁石およびその応用品)
	情報部品カンパニー	情報通信機器用部品(積層部品、アイソレータ)、IT機器用材料・部品、医療機器用材料・部品、ソフトフェライトコアおよびその応用品、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット <sup>®</sup> ]およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas <sup>®</sup> ]およびその応用品
	軟磁性材料カンパニー	アモルファス金属材料[Metglas <sup>®</sup> ]
<b>高級機能部品セグメント</b>  [2009年度実績] 売上高 1,380億円 営業利益 55億円  [2010年度実績] 売上高 1,618億円 営業利益 114億円	自動車機器カンパニー	自動車用高級鋳物部品(排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト <sup>®</sup> ]、高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM <sup>®</sup> ]、アルミホイール[SCUBA <sup>®</sup> ]、その他アルミニウム部品
	配管機器カンパニー	設備配管機器(印各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張用タンク)
	日立機材株式会社	建築部材(内装システム、構造システム、マテハンシステム)

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動